

そこにあるのは なにもしなない未来か 希望ある明日か

構成：宮本秀隆 モデル：広報の読者モデル



このままだと日野から高校がなくなると知ったらどうしますか。

少子高齢化が進む今の日本。内閣府の人口推計によると、町の人口は2040年には約1800人になると見込まれています。

日野町には2つの小学校、中学校、そして高校がありますが、そんなの当たり前なんかじゃないんです。

そりゃそうです。死亡や転出などで町の人口は今も減り続けているんですから。

そんな中、日野郡唯一の高校、日野高校は前身の日野農林、根雨高女から数えて2020年には創立100周年を迎えます。

今、生徒のおよそ7割は米子市などの日野郡以外から通っています。

「進学や将来のことを考えると、米子の高校に通わせたい」「日野高の子はどうぞ日野町から出ていくんでしょ」とかいろいろ聞きますが、最近地域をにぎわせているJK(地元改革)課の活動や、生徒と地域住民との交流など、日野町のことをしっかり考えてくれてる子もいます。だから大事にしたいんです。

学校の未来は地域の未来。そのことを再認識してもらおうべく、特集を組みました。

今回、学校関係者や地域住民、JK課のメンバーへのインタビューなど、さまざまな視点から、それぞれの思いを出してもらいました。

将来、もしかしたら日野高は無くなってしまうかもしれないけれど、何もしない未来より地域・学校・行政が手を取り合い、今を続けられることを大事にしたいです。

少しでもこの特集が皆さんの心に届きますように。

INDEX

04 まおまやゆいが考えるー

もし明日、日野高がなくなったらー

06 “出会い+挑戦+成長” ー日野高校

“地域で育てる” を実践ー黒坂小学校
子どもたちの未来

08 日野高校3年・生田&桐原&西村

× 株式会社優裁 松本洋一

この出会いが
また新たな縁を結ぶ

10 JK課・柳瀬&古澤&浦上&坪内

私たちの思い描く明日。
未来には愛しかない

激動?の3カ月を振り返る

高校では教えてくれないこと

校長インタビュー

このままいくと、ヤバすぎる件。